

事後評価

【案件第3号】

社会資本総合整備計画

地域の安心を支えるにぎわい拠点の形成
(令和元年度～令和5年度)

【案件第4号】

都市再生整備計画

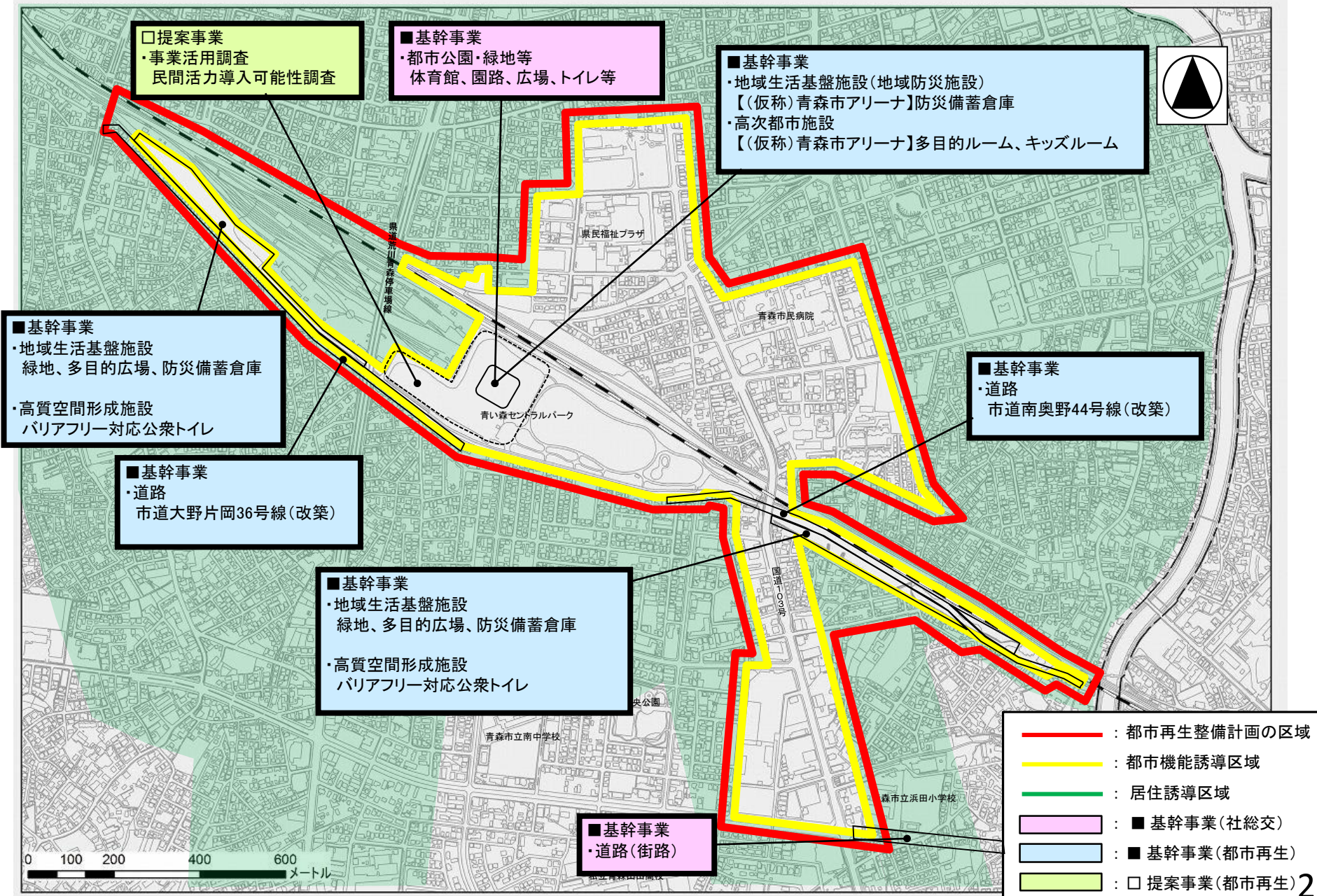
青森操車場跡地周辺地区
(令和元年度～令和5年度)

令和6年11月19日

都市整備部 都市政策課、公園河川課、道路建設課
経済部 地域スポーツ課

計画の概要

主な市事業：アリーナプロジェクト推進事業
青森操車場跡地周辺整備推進事業



計画の概要

主な市事業：アリーナプロジェクト推進事業
青森操車場跡地周辺整備推進事業

計画の名称	社会資本総合整備計画 地域の安心を支えるにぎわい拠点の形成	都市再生整備計画 青森操車場跡地周辺地区
目標	【大目標】 地域の安心を支え、にぎわいを生み出す交通機能の強化と交流拠点の形成 【目標1】 人と人の交流を促進し、にぎわいを生み出す健康・交流拠点の形成 【目標2】 防災機能の強化を図ることによる、地域の安心を支える緑豊かな拠点の形成 【目標3】 機能的な道路ネットワークの形成による、地域活動の発展への寄与と、交通の分散化・円滑化による、歩行者・自転車の交通安全の確保	【大目標】 地域の安心を支え、にぎわいを生み出す交流拠点の形成 【目標1】 人と人の交流を促進し、にぎわいを生み出す健康・交流拠点の形成 【目標2】 防災機能の強化を図ることによる、地域の安心を支える緑豊かな拠点の形成
計画期間	令和元年度～令和5年度	令和元年度～令和5年度
全体事業費	7,476 百万円	3,682.4 百万円
国費率	40%（R1都市再生整備計画事業） 50%（上記以外）	40%（R1） 50%（R2～都市機能誘導区域内） 45%（R2～都市機能誘導区域外）
事業内容	【基幹事業】 ・都市再生整備計画事業（公社用地取得等）※1 ・道路（街路整備）※2 ・都市公園・緑地等（体育館、園路、広場、トイレ等） ※1 R1のみ（R2以降は、都市構造再編集集中支援事業に移行） ※2 R1のみ（R2以降は、県策定計画に移行）	【基幹事業】 ・道路（東西道路） ・地域生活基盤施設（緑地、多目的広場、防災備蓄倉庫） ・高質空間形成施設（バリアフリー対応公衆トイレ） ・高次都市施設（体育館内の多目的ルーム・キッズルーム） 【提案事業】 ・事業活用調査（民間活力導入可能性調査）
目標を定量化する指標	指標1 市民が交流活動できる環境に関する満足度 指標2 市民体育館（アリーナ）の利用者数 指標3 地区の安心・安全性に関する満足度 （両計画で共通）	

事業の実施状況

【社会資本総合整備計画】 **社会資本整備総合交付金**

【基幹事業】-都市公園・緑地等事業

◆事業費:約61.2億円 ◆事業内容:青森市総合体育館(本体)、青い森セントラルパーク

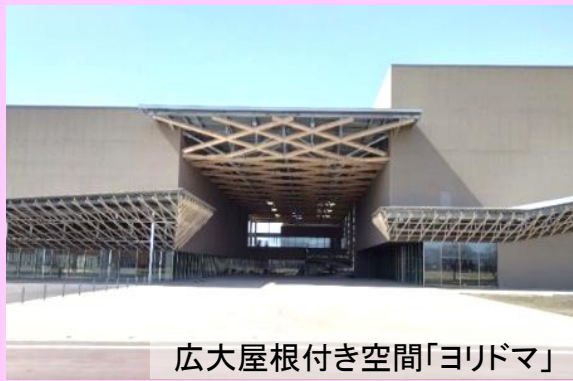


青森市総合体育館 及び 青い森セントラルパーク

都市公園事業



メインアリーナ



広大屋根付き空間「ヨリドマ」

官民連携型賑わい拠点創出事業



イベント広場



子ども広場



園路・多目的広場

事業の実施状況

【都市再生整備計画】 **都市再生整備計画事業・都市構造再編集中支援事業**

【基幹事業】 ◆事業費:約36.3億円 ◆事業内容:周辺道路等、青森市総合体育館(多目的ルーム、キッズルーム等)

道路



市道南奥野44号線



市道大野片岡36号線

高質空間形成施設



バリアフリー対応公衆トイレ

地域生活基盤施設



多目的広場



防災備蓄倉庫

高次都市施設



青森市総合体育館:多目的ルーム



青森市総合体育館:キッズルーム

【提案事業】◆事業費:約0.5億円
◆事業内容:事業活用調査

民間活力導入可能性調査



公募設置管理制度(Park-PFI)の活用



カフェ



スポーツクラブ

定量的指標の達成状況

■各指標の計測方法

[指標1:市民が交流活動できる環境に関する満足度]
→本市が令和6年5月に実施した市民意識調査の結果

[指標2:市民体育館(アリーナ)の利用者数]
→開業後3か月間(令和6年7月～9月)の実績値から1年間の利用者数を算定
(99,001人/3か月×12か月＝396,004人/年)

[指標3:地区の安心・安全性に関する満足度]
→本市が令和6年5月に実施した市民意識調査の結果

■整備計画に記載した定量的指標の達成状況

指標	単位	従前値		目標値		評価値		目標達成
			年度		年度	(目標値との対比)	年度	
指標1: 市民が交流活動できる環境に関する満足度	%	34.0	H30	40.0	R6	40.4 (+0.4)	R6	○
指標2: 市民体育館(アリーナ)の利用者数	人/年	162,870	H28	265,893	R6	396,004 (+130,111)	R6	○
指標3: 地区の安心・安全性に関する満足度	%	33.5	H30	40.0	R6	26.9 (-13.1)	R6	×

効果発現要因の整理

指標1: 市民が交流活動できる環境に関する満足度

指標	単位	従前値 (H30)	目標値 (R6)	評価値 (R6)	目標達成	1年以内の 達成見込み
市民が交流活動できる環境 に関する満足度	%	34.0	40.0	40.4 (+0.4)	○	—

■効果発現の要因(総合所見)

- 道路の新設・拡幅整備による交通環境の向上
- 緑地・多目的広場の整備による地域住民の憩いの場の創出

※ 青森市総合体育館の開業前に実施した市民意識調査であることから、開業後の現在においては、更なる満足度の向上が期待される

■今後の活用

- 青森市総合体育館及び青い森セントラルパークの運営事業者と連携しながら、持続的な魅力創出を図る

効果発現要因の整理

指標2: 市民体育館(アリーナ)の利用者数

指標	単位	従前値 (H28)	目標値 (R6)	評価値 (R6)	目標達成	1年以内の 達成見込み
市民体育館(アリーナ)の 利用者数	人/年	162,870	265,893	396,004 (+130,111)	○	—

■効果発現の要因(総合所見)

- 青森市総合体育館は、スポーツのみならず多様な催事ができる交流拠点として整備
- 青森市総合体育館の整備と併せて、青い森セントラルパークにおいて、民間活力を導入するため、公募設置管理制度(Park-PFI)を活用し、公募対象公園施設であるカフェとスポーツクラブの併設による魅力の創出
- 市民参加型の開館記念イベントの開催や、子どもがのびのびと遊べる県内最大級規模のキッズルームなどが設置され好評

■今後の活用

- 施設の魅力向上や利用促進につながるようなイベントの開催や運動プログラムを実施するなど、運営事業者と連携を図る

効果発現要因の整理

指標3:地区の安心・安全性に関する満足度

指標	単位	従前値 (H30)	目標値 (R6)	評価値 (R6)	目標達成	1年以内の 達成見込み
地区の安心・安全性に関する満足度	%	33.5	40.0	26.9 (-13.1)	×	不明

■効果発現の要因(総合所見)

- 多目的広場、道路新設・拡幅、防災備蓄倉庫などの整備による地区の防災機能を強化
- × 令和6年5月に実施した市民意識調査の時点では、令和6年7月の青森市総合体育館の開業前であり、整備効果が発現していないため、市民意識の変化が現れなかったものと推測

■改善の方針

- 防災訓練や広報などを通じて、地区の防災意識の醸成を図る

参考:本事業に関連した取組等

多様な主体による活動の活性化

施設運営事業者による開館記念イベント



7/13～7/14開催

若手農家による産直市
キッチンカーによる販売
QOL検診 等々

地域の交流の場
として活用

地元町会の夏まつり



広大な屋根付き空間
「ヨリドマ」

7/28開催(市長Xより)

プロバスケットボールBリーグ 東北カップ



9/14～9/16開催

青森ワッツをはじめ
東北6県のチームが
集結し、3日間で
約6,200人が来場

ダンスイベント



10/20開催

新体操と有名アーティスト
のコラボによる
アクロバティックショー

この他、

- ・音楽コンサート
- ・総合防災訓練 等で活用

今後も多様な主体による
活動の活性化が期待される

今後の方針等

■ 今後の方針等（効果を持続させるために行う方策、改善策）

健康・交流・防災拠点としての持続的な取組

【効果を持続させるために行う方策】

青森市総合体育館を健康・交流・防災拠点として、スポーツや健康づくりをする機会の提供、施設の魅力向上や市民の交流促進につながるようなイベント等の実施、災害時にも利用できる体制の確保など、運営事業者と連携を図りながら取り組んでいく。

交通環境の整備充実

【改善策】

新駅や自由通路などの整備に向け、関係機関と連携・協力して取り組んでいく。

その他

地区全体として効果的な利活用が図られるよう、引き続き、関係機関と連携・協力して検討を進める。

事後評価結果の公表 及び フォローアップについて

■事後評価結果の公表について

・事後評価原案の公表状況

公表期間: 令和6年11月1日～令和6年11月15日

公表方法: 市ホームページ、市都市政策課窓口にて公表
(広報あおもりも活用し、周知を図った)

意 見: な し

◎今後の事後評価結果の公表予定

本評価委員会での審議結果、国への報告を踏まえ、
令和7年3月頃に市ホームページ、市都市政策課窓口
にて公表を予定

■フォローアップについて

指標2と指標3の目標の達成状況を、令和7年度に改めて確認。
達成状況を踏まえ、今後のまちづくりの方策の検討を行ったうえで
フォローアップ結果の公表、国への報告を行う。

- ・指標2・・・令和6年7月～令和7年6月の体育館利用者数を確認
- ・指標3・・・令和7年5月実施予定の市民意識調査結果を確認

事後評価フロー

R6年度

事後評価原案の作成

事後評価原案の
公表・意見募集

意見の反映

青森市社会資本整備
評価委員会

意見の反映

事後評価結果の
まとめ

修正

国への報告

助言

事後評価結果の公表

R7年度

フォローアップの実施

フォローアップ結果の
公表、国への報告